



# 記者手帳

「まだら模様」とは  
まごころのことだ。

焼却処理では、例  
えば、木くずは単純  
焼却向けの量が減っ  
て「処理単価云々と  
いう以前の状態」(北  
関東や南関東の焼却

処理業者)で、廃ブ  
ラでは大規模施設を  
持つ処理業者には従  
来言われてきた処理

(北関東の焼却処理  
業者)のような状況で、  
安値が広がっている  
ようにも見える。

最終処分を巡って  
は、「ロケーション  
で言えば、収集運搬  
費用を合わせると、  
安定型理立よりも焼  
却処理や管理型理立

少なくない。  
うな処理料金の分化  
が起きているかを考  
えてみると、複数の  
処理処分ルートがで  
きて収集運搬費用込  
みで考えられるよう  
になったこと、大手

## まだら模様の処理料金

原価では考えられな  
いところも現れた。  
廃プラの割合が多い  
医療廃棄物も「どう  
やって利益を上げて  
いるかわからない」

お客さんには、「う  
ちではできません」  
と断って利益を重視  
している「北関東の  
焼却処理業者」とい  
うような処理業者も

の方が割安「北関東  
の固形廃棄物中間処  
理業者」というよう  
なところまで出てく  
る状況だ。

どうして、このよ  
うな状況が起きているのか  
企業は排出事業者が  
メインか中小の地元  
の排出事業者がメイ  
ンかなどの図式が透  
けて見えてくる。

(中)